



プレスリリース

2014年11月5日

## 資金・財務管理業務ソリューションを手がける リヴァルが日本法人社長を任命

日本国内から資金管理ニーズの高いグローバル企業の資金・財務管理業務を支援

**【2014年11月5日東京】**本日、資金・財務管理およびリスク管理向け SaaS ソリューションのグローバルリーダーであるリヴァルは、金融業界での豊富な経験を有する長崎一男が日本代表に就任したことを発表しました。長崎は東京に設立間もないリヴァルの日本オフィスを成長させるべく、総額 1.7 兆ドル（約 185 兆円）と言われる、高水準の流動性を抱えるグローバル企業の資金・財務管理ニーズに応えるソリューションを提供して参ります。

就任した長崎は次のように述べています。「健全なグローバルビジネスの展開にとって、テクノロジーは欠かせない要素です。日本では海外の資産・財務を集中管理するため、グローバル企業が技術ソリューションの導入を始めています。これは伝統的に分散化されてきた従来の日本企業の経営スタイルからの大きな変化です。過去数年間に、日本では M&A 活動が活発となり、買収合併後の資金管理方法を改善したいという需要が高まっています。自社資金の可視化を実現し、戦略的にその配分先を決定できるようにしたいという企業が増えています。」

アジア太平洋マネージング・ディレクタのトニー・シングルTONは次のように述べています。

「長崎はグローバル展開する日本企業が直面する、財務面での難しさを熟知しています。日本オフィスに、長崎のようなリーダーシップと知見を持つ人材を迎え、アジア市場で成長していくことを楽しみにしています。」

リヴァルは、アジア太平洋地域の 7 カ国に本社または地域拠点を置く企業 100 社を顧客としており、全体では世界的企業 600 社がグローバルな資金・財務管理にリヴァルのソリューションを採用しています。

長崎は金融、財務業務、リスク管理、国際事業開発分野において 30 年以上に及ぶ実績を有しています。日本興業銀行にてデリバティブ・トレーディング、資産・負債管理、経営企画業務



等に 20 年以上携わりました。また、IT 企業、コンサルティング企業では、豊富な金融業界での経験を生かして財務およびリスク管理に IT を活用してクライアントを支援し、SaaS ソリューションを提供する会社の日本進出事業を立ち上げ、日本の大手銀行三行のシンジケートローンおよび主要な投資銀行の M&A に採用された実績を持っています。

### リヴァル (Reval) について

リヴァルは、包括的かつ統合型の資金・財務管理及びリスク管理 (TRM) ソリューションを、グローバル SaaS で提供する、先進的企業です。クラウドベースのソフトウェアおよび関連商品によって、キャッシュ、流動性、リスクを管理し、複雑な金融商品およびヘッジ活動についての会計や報告という特殊な機能も備えています。複雑で変動しやすいグローバルなビジネス環境の中で、企業の CFO や財務担当者が自信を持って業務を進められるよう、リヴァルは幅広く迅速なデータや分析を提供します。リヴァルを活用することで、企業横断的に資金・財務管理やリスク管理を最適化し、より高い効率性、セキュリティ、コントロール、コンプライアンスを実現頂けます。リヴァルは 1999 年に設立されニューヨークに本社がある他、北米、欧州、中東、アジア太平洋に地域拠点を有しています。

リヴァル日本オフィスに関する情報は [www.reval.com](http://www.reval.com) をご覧ください。または [info@reval.com](mailto:info@reval.com) までご連絡ください。

###

### 広報お問い合わせ先

アシュトン・コンサルティング

塩加井匡・福井容子

03-5425-7220

t.shiokai@ashton.jp/y.fukui@ashton.jp